

衆議院議員

浅野さとし

活動Letter
No. 8

発行：衆議院議員 浅野さとし 2018年6月号

平成30年6月15日閣議決定

「経済財政運営と改革の基本方針2018」に反映される

5月30日に浅野議員が経済産業委員会一般質疑の中で取り上げた「第4次産業革命時代における雇用の創出」に関する内容が今般、閣議決定^{※1}された基本方針2018に反映されました。

(※1 内閣として意思決定すること)

・雇用の創出を主目的とした取り組みを求める(2018年5月30日 一般質疑)

第4次産業革命時代におけるIT技術の利活用、そして人材や設備投資の促進だけでなく、国内経済の好循環を実現するために、雇用の創出を主目的とした取り組みを求める。

ご指摘の通りであり、生産性革命を進めて、その結果として雇用が減っているようでは、元も子もない。

第4次産業革命に対応するスキルを身に着けるためのリカレント教育や、多様なニーズを持った方が自分の希望で兼業や副業といった柔軟な働き方が選べるような取り組みを促進し、生産性の向上と賃金、雇用の拡大を図っていく。



浅野議員



世耕経済産業大臣

政府方針に反映!

■内閣府 HP「経済財政運営と改革の基本方針2018」(平成30年6月15日閣議決定) 資料より一部を抜粋

リカレント教育^{※2}

- ・第4次産業革命スキル習得講座を大幅に拡大する。
- ・キャリアアップ効果の高い講座を対象に、給付率を2割から4割へ倍増する。
- ・雇用対策として必要性の高いプログラム(AI・IoT、センサー、バイオ等)を集中的に支援する。
- ・大手企業の中途採用を拡大する。

(※2 社会人の学び直し教育の総称)

第4次産業革命の到来によってAIやロボット等が普及すると、世の中の就業構造が大きく変化すると考えられています。しかし、AIやロボットはあくまで産業用の設備でしかなく、その様な時代に備えた人材教育は非常に重要な課題です。今回、委員会での質疑で取り上げてきた人材教育と雇用拡大が政府方針の中に含まれていたことは評価したいと思います。

具体的な予算額などの審議はこれからとなりますので、引き続き、現場の声を反映するために全力で取り組みます。

【プロフィール・略歴】

浅野哲(あさのさとし)。1982年9月25日生まれ(35歳)。青山学院大学大学院修了。

(株)日立製作所日立研究所研究員。日立労組研究所支部執行委員。大畠章宏衆議院議員秘書。

第48回衆議院議員総選挙において初当選。日立市在住。妻と娘の3人家族。

【議員連盟】 児童虐待防止対策の推進を上川大臣へ要請

今年、3月に東京都目黒区で発生した児童虐待事件を受け、6月22日、超党派ママパパ議員連盟^{※3}(会長：野田総務大臣)として「児童虐待防止対策の推進」を求め、上川法務大臣へ申し入れを行いました。

二度とこのような悲しい事件は起こさないためにも、児童相談所や自治体担当部署の体制強化、一時保護所や受け入れ先等の拡充、情報共有の徹底が図られるよう議員連盟として取り組んでまいります。

※3 同じ志の国会議員で構成される会



上川法務大臣へ議員連盟メンバーにて申し入れ

国の施策及び予算について、茨城県と意見交換を図る

6月20日、茨城県と県選出の衆参国会議員との意見交換会に出席しました。

茨城県からは大井川知事をはじめ、茨城県庁幹部の皆さまが出席され、県政の課題と展望、国に対する要望などの情報共有が図られました。



国と県との連携の在り方について述べる浅野議員

私からは産業の成長にむけて国が行おうとしている規制緩和の動きについて紹介し、また、県北地域における医師不足問題、中小企業支援策について意見交換をさせていただきました。

今後も地域の声を国政に反映するため、県と連携しながら全力で取り組みます。



大井川知事から茨城県の取組みについて説明



【浅野さとしからのメッセージ】

経済産業委員会の中で新てきた「人への投資」が政府の取組みの中にも反映されたことは評価したいと思っております。引き続き、現場で頑張る人達の声を届けるため、全力で取組みます！ 浅野さとし

皆さんの想いを是非、お聞かせください！

【連絡先】
衆議院議員 浅野哲 国会事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 406号室

Mail : g17398@shugiin.go.jp
Tel : 03-3508-7231
Fax : 03-3508-3231